

# 学習シラバス

教科 理科	科目 化学基礎	履修学年 1年	コース 全	履修区分 必修	単位数 2
使用教科書 ・副教材等	化学基礎（啓林館） 化学基礎・化学実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門） フォローアップドリル化学基礎（数研出版）				
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考查まで	第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 第1節 純物質と混合物 第2節 物質とその成分 第3節 粒子の熱運動と物質の三態 第2章 物質の構成粒子 第1節 原子の構造と電子配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学が生活の中でどのように活かされているか理解する。</li> <li>物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について理解する。</li> <li>物質を構成する元素とその検出法について理解する。</li> <li>熱による物質の状態変化について理解する。</li> <li>原子の構造と各原子の電子配置を理解する。</li> </ul>
一学期期末 考查まで	第2節 イオン 第3節 元素の周期表 第3章 化学結合 第1節 イオン結合 第2節 共有結合 第3節 金属結合 第4節 物質の分類と融点	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質は原子、分子、イオンから成ることを理解する。</li> <li>イオンと電解質の性質について理解する。</li> <li>周期律と周期表、元素の性質について理解する。</li> <li>イオン結合と共有結合でできた物質について理解する。</li> <li>共有結合と電気陰性度について理解する。</li> <li>金属結合と金属の性質について理解する。</li> </ul>
二学期中間 考查まで	第2部 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 第1節 原子量・分子量・式量 第2節 物質 (mol)	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質をつくる粒子の量の表し方について理解する。</li> </ul>
二学期期末 考查まで	第3節 化学反応式と化学変化の量的関係 第2章 酸と塩基 第1節 酸と塩基 第2節 水の電離と pH	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学反応によって起こる量的な変化について理解する。</li> <li>酸と塩基の性質と電離度について理解する。</li> <li>水の分子もわずかに電離して、水素イオンと水酸化物イオンを生じていることを理解する。</li> </ul>
学年末 考查まで	第3節 酸・塩基の中和と塩 第3章 酸化還元反応 第1節 酸化と還元 第2節 酸化剤と還元剤 第3節 金属の酸化還元反応 第4節 酸化還元反応と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基を中和させると塩が生成することを理解する。</li> <li>酸化と還元の定義と酸化数について理解する。</li> <li>酸化剤と還元剤とその反応について理解する。</li> <li>金属のイオン化とイオン化傾向について理解する。</li> <li>酸化還元反応が日常生活において多く利用されていることを理解する。</li> </ul>
評価方法	<b>【関心・意欲・態度】</b> 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価 <b>【思考・判断・表現】</b> 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考查等で評価 <b>【観察・実験の技能】</b> 観察・実験の態度、実験ノートの記述、定期考查等で評価 <b>【知識・理解】</b> 小テスト、定期考查、ノートの記述で評価	

